

令和4年度事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

NPO法人 福岡すまいの会

1) 総括

- ・福岡県指定居住支援法人としての活動継続
- ・福岡市就労自立支援センター、市内三か所で運営事業受託継続
- ・福岡市アセスメントセンター運営事業受託継続
- ・福岡県／福岡市ホームレス自立支援推進協議会への参加
- ・福岡県／福岡市居住支援法人連絡協議会への参加
- ・福岡市精神保健福祉協議会への参加
- ・国土交通省「令和4年度共生社会の実現に向けた住宅セーフティネット機能強化・推進事業」補助金交付
- ・職員の福利厚生充実のため退職金制度を維持（中退共加入）
- ・居住支援の円滑化のため、城南区にアパートを購入
- ・アパート購入費用を西日本シティ銀行より借入

2) 就労支援事業

- ・福岡市就労自立支援センター及びアセスメントセンターの運営を継続受託
- ・福岡市就労自立支援センター市内三か所の小規模事業所形式で運営（定員8名、8名、10名、計26名）
- ・アセスメントセンターの稼働率により、福岡市への返納金発生
- ・三事業所およびアセスメントセンターの情報共有のため、VPMネットワーク（仮想専用回線）による情報共有システムおよび、filemaker serverによる統合データベースを運用
- ・株式会社博運社と連携し、就労体験研修を実施。
- ・COVID-19 感染症対策のため、事業所間会議・研修をオンライン化、検温、消毒の徹底、マスク配布、非常食料の備蓄強化などを実施
- ・10代の入所者5名に対応
- ・福岡県弁護士会と連携した入所者法律相談を実施（16件）
- ・新規入所者平均年齢39.9歳（昨年39.7歳と変わらず）
- ・就労自立割合は41%（昨年度40%と変わらず）

3) 住居支援事業

- ・居住相談件数 162件（前年比8%減）
- ・居住支援に関し、国土交通省「共生社会の実現に向けた住宅セーフテ

- 「インターネット機能強化・推進事業」補助金を4月～1月末まで利用
- ・サポートホーム（サブリース・所有物件）利用者総数 76名
- ・サポートホーム（サブリース・所有物件）利用者変動数
 - 和自地区 : 入居2名 退去7名
 - その他東区: 入居0名 退去2名
 - 城南区 : 入居6名 退去2名
 - その他 : 入居0名 退去0名
- ・保証事業の利用者: 入居0名 退去0名
- ・安定的な居住支援のため、城南区西片江にアパート（全8室）を購入
- ・緊急連絡先引受のみ対応: 入居6名（緊急連絡先引受総数25名）
- ・高齢で階段昇降が難しい高齢者の1階転居をサポート（1名）
- ・住居支援についての統合データベースシステムを運用中
- ・高齢者住宅財団による包括的保証委託契約を利用継続

4) 諸相談事業

- ・Web相談、電話相談、困窮者宅でのアウトリーチ相談を実施
- ・相談件数 実人数 173人
 - （男性115名、女性40名、世帯18世帯）
 - 前年比12%減（8年ぶり減）
 - 相談者のアセスメントセンター入所15名 世帯入所1世帯
- ・相談支援についての統合データベースシステムを運用中
 - （filemaker pro19 advanced を利用）
- ・AMAZON 欲しいもののリストを利用し、保存食料等の寄付を受領（緊急支援物資、日用品、保存食料など）
- ・就労自立支援センター退所者のアフターケア事業継続

5) 生活支援事業

- ・サポートホーム入居者1名が自宅にて死去、2名が病院にて死去
- ・サポートホーム入居者2名が介護施設等へ入所
- ・サポートホーム入居者4名が自主退去
- ・サポートホーム入所者2名の介護施設入所をサポート
- ・介護施設入所中の被支援者2名が施設にて死去
- ・家庭訪問と電話による安否確認を実施中
- ・依存症、認知症等の入居者に金銭管理支援を提供（13名）
- ・6名の入居者の入院時身元保証を提供
- ・13名の入居者に病院同行支援等を提供
- ・依存症対応のため「ジャパンマック福岡を支える会」会員を継続

- ・触法障がい者・高齢者支援のため「福岡地域生活定着支援協議会」
会員を継続
- ・入居者4名の法律相談に対応

6) 障がい者福祉事業
実施なし

7) 広報

- ・Facebookの活用、ホームページとの連動
- ・メディア掲載、放映履歴
 - ・西日本新聞連載コラム“すまう つながる”隔週火曜日連載継続
 - ・生活書院・雑誌“支援”2022年5月16発行に特集寄稿
“コロナ禍のなかで”著・服部広隆 P7-18
- ・調査研究、研修協力
 - 【調査・研究協力】**
 - ・日本 NPO 学会第24回研究大会パネルセッション共同発表
“NPOのビジネス志向と倫理（2）新たなNPO論を考えてみる”
 - ・令和4年度福岡市生活困窮者支援実態調査 調査協力
実施・東京商工リサーチ福岡支社
 - ・令和4年度国土交通省 居住支援法人活動の普及拡大に向けた調査
事業 調査協力 実施・株式会社市浦ハウジング&プランニング
 - 【研修協力・講師】**
 - ・福岡市・令和4年度 市民公益活動担い手発掘プログラム
Dlab ディーラボフクオカ 講師
 - 【委員会参加等】**
 - ・福岡県ホームレス自立支援推進会議 委員として参加
 - ・福岡市ホームレス自立支援推進会議 委員として参加
 - ・福岡県・居住支援法人連絡協議会 委員として参加
 - ・福岡市・居住支援法人連絡協議会 委員として参加

事業実績（生活困窮者の自立支援及び諸相談）

事業名	住居支援	生活相談	就労支援	職業紹介	法律相談	障がい者支援
相談者数	162人	137人	123人	92人	20人	0人
社会復帰・自立者数	29人	29人	80人	0人	20人	0人

※ 相談者数は実人数。実際の相談回数はこれより増える。

※ 住居支援相談者数には電話相談を含み、生活相談と一部重複している。

※ 就労支援のうち就労による自立者数は31人

令和4年度 事業の実施に関する事項報告

(1) 特定非営利活動に関する事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活困窮者の自立のための住居支援事業	住居相談	毎日	事務局	4人	福岡市内の生活困窮者 : 162人	28,182
	サポートホームの運営	毎日	東区、城南区 南区、博多区等	6人	入居者 76人	
生活困窮者の自立のための保証人活動事業	保証人活動	随時	事務局及び 各自の住居	5人	連帯保証をしている人 22人	
生活困窮者の自立のための生活支援事業	生活支援	随時	各自の住居	6人	自立者 122人	0
生活困窮者の自立のための就労支援事業	就労支援	毎日	博多区保護三課、 就労自立支援 センター、アセス メントセンター	17人	就労自立支援センターと アセスメントセンター 入所者 123人	94,724
生活困窮者の諸相談業務事業	緊急支援	随時	事務局および、 各自の住居	4人	福岡都市圏の生活困窮者 29人	0
	生活相談	随時	事務局	4人	福岡都市圏の生活困窮者 137人	0
生活困窮者の自立支援に関する調査・研究事業	調査・研究	実施なし				0
生活困窮者の自立支援に関する出版事業	出版	実施なし				0
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	グループホームの運営	実施なし				0
有料職業紹介事業	職業紹介	通年	事務局	10人	センター入所者他 92人	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
文化事業	講演など		実施予定なし			0
物品販売事業	物品販売		実施予定なし			0

(資料)

【メディア掲載】



西日本新聞 “すまう つながる” 隔週火曜日連載



生活書院 支援 vol. 12 特集寄稿

【購入物件】



城南区西片江 全8戸 アパートを購入